

～ DX 推進戦略 ～

■ DX ビジョン

1. 業務の効率化・高度化、およびデータ利活用を通じて生産性の高い次世代の働き方に転換します。
2. 高度な技術集団を持続的に支えるために人財育成、技術伝承の新たな仕組みづくりに取り組みます。
3. デジタル技術を活用し、働きがい・やりがいを実感できる職場環境づくりに取り組みます。

■ DX ビジョンに基づく、8 つの施策

○ 施策

ビジョン 1 : ① 実行計画作成・管理の効率化

⇒ 標準フォーマットによる運用、データの一元管理やタイムリーな連携による予実管理の最適化、勤怠・契約等他システムの連携を実現。

② 業務プロセスの標準化・効率化

⇒ 各業務プロセスについて、廃止・変更・新規・継続等を踏まえた見える化に取り組み、デジタル化推進による円滑な業務遂行を実現。

③ データ利活用による業務の効率化・高度化

⇒ 必要な情報をスムーズに取り出せるデータベース等を構築し、データ利活用により過去トレンド分析や将来予測の実現。

ビジョン 2 : ④ 人財計画・配置の最適化

⇒ スキル・経験・資格・従業員情報のデジタル化および一元管理を図り、リアルタイムで把握し、人財配置の最適化を実現。

⑤ 新たな技術伝承の仕組みづくり

⇒ 研修情報のデジタル化、一元管理を図るとともに、新たな技術伝承に向けて Web 研修、e ラーニングの導入による「いつでも」「どこでも」「何回でも」学べる研修環境の整備、研修レコメンドによる自発的受講環境の実現。

⑥あくなきチャレンジ精神を持った人財育成

⇒外部研修の利用等で、個々人のチャレンジ精神、行動力を育て、誰もがチャレンジできる場の醸成。

ビジョン3：⑦社内事務処理の効率化

⇒社内事務処理等の申請の電子化（ペーパーレス化）の取り組みおよび社内基幹システムの見直し。

⑧ICT 環境の強化

⇒DX 推進に寄与する ICT 環境の強化。

■ DX 実現に向けた人財育成

○個人の成長⇒組織の成長と連動する人財育成体制を構築する。

・キャリア形成に向けた研修の質の向上

- PC、スマートフォン、タブレット等、どんなツールでも閲覧が可能な動画配信プラットフォームの構築
- eラーニング、座学研修（動画化）、安全管理（路肩規制他）、システム操作マニュアル（動画化）等、様々な動画のコンテンツを一元管理
- いつでもどこでも何回でも視聴が可能、フォローアップとしても活用
- 土木、施設、事務、システム等、分野を問わず研修の受講

○デジタル人財

デジタル技術やデータ活用に精通した人財（プログラミング、データエンジニア等）です。

⇒デジタル技術とは、すべての業種に活用できる基礎となるため、

全社員の一定レベル（デジタルリテラシー）の向上に務める研修を実施します。

■ DX の共創

DX 推進取り組みにおいて、DX を取り巻くスピードに遅れることなく、デジタル化推進の施策を計画的かつ円滑に進めるために業務プロセスの見直し、社内システムの構築などのデジタルに関する実践経験等のある者の視点やノウハウが必要不可欠であり、そのスキルを持つ外部支援を活用しながら DX に必要な知識を取入れて次世代に繋げる変革を醸成していきます。また、AI・データサイエンス・ロボティック・クラウドなどの IT 技術を外部企業との連携によるデジタル技術の強化を目指します。

■ DX 実現に向けた組織の整備

DX を推進するため、令和 4 年度 7 月に組織として「企画部デジタル推進課」を、また職種として「情報職」を新設するとともに、令和 5 年度には、社内のデジタル化を推進し効率的な経営体制の構築を目的とした「社内デジタル化推進委員会」を設置して強化を図りました。

■ DX 戦略に向けた行動計画

2021 年度作成、中期経営計画に記載。

HP ⇒ 会社情報 ⇒ 経営情報 ⇒ 中期経営計画 ⇒ 中期経営計画.pdf (3～31 ページ)